

港区立小中一貫教育校赤坂学園赤坂中学校  
令和5年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な語彙力</li> <li>・筋道立てて考える思考力</li> <li>・人との関わりの中で伝え合う判断力や表現力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題の正答率が低かった。</li> <li>・作文や小論文を書く問題では、語彙が乏しく接続語が多くなっていた。日頃から新出語彙に触れ、用例を学ぶ必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的文章を書くための構成力育成に力を入れていく。</li> <li>・話したい、聞きたいと思う学習の場面を設定することが課題である。話し手・聞き手の交流の場面を実現し、話し合い活動を通して話すこと聞くことの力を育成する。</li> <li>・思考を広げるためにICT機器を活用し、積極的に情報共有を行う。</li> </ul>

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に対する関心</li> <li>・諸資料を通して課題について多面的・多角的に考察する力</li> <li>・考察したことを、様々な場面で活用する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的文章を書くための構成力育成に力を入れていく。(論述問題の割合を増やしていく)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話したい、聞きたいと思う学習の場面を設定することが課題である。話し手・聞き手の交流の場面を実現し、話し合い活動を通して話すこと聞くことの力を育成する。</li> <li>・思考を広げるために、ICT機器を活用する。</li> </ul>

数学	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の定着</li> <li>・資料から情報を読み取り、活用していく思考力・判断力</li> <li>・読み取った情報から自分の考えを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査において、四分位範囲や箱ひげ図など、データの活用問題の正答率が低い。データを正しく読み取ること、数学用語を正確に覚え、問われていることに対して正しく答えを導いていくことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学用語を正しく使えるようになるように、自分の考えを説明する時間や、考えを記述する時間を設ける。</li> <li>・ICT 機器を活用して、グラフや表の作成や計算など、実際にデータを活用する活動を多く取り入れる。またそれを発表する場を設ける。</li> </ul>

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的、基本的な知識の定着</li> <li>・習得した知識を活用する力</li> <li>・自分の考えを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的、基本的な知識・技能の観点においては、概ね良好ではあるが、思考力を問う問題に関しては、正答率が低く、課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的、基本的な知識・技能については引き続き、小テストや反復学習を重点的に行い、高いレベルを維持していく。また、思考力においては、タブレットを用いた協同学習等を取り入れ、様々な場面において自分自身の考えを深める機会を設けるようにしていく。</li> </ul>
音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱の実技テストにおいて、音程、フレーズなど音楽表現に必要な技能が身につけていない生徒がいた。</li> <li>・グループ活動のときに音楽の専門用語を用いながら曲に対する自分の意見を表現することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</li> <li>・ワークシートやタブレットを活用して、曲に対する思いや意図を伝え合う機会を多く設け、主体的・協働的に表現する学習活動ができるようにする。</li> </ul>
--	--	--	--

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を通して、「知識・技能」を習得し、「思考力・判断力・表現力」を身につけ、心豊かな生活を創造していく姿勢を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題には積極的に取り組む生徒がほとんどであるが、達成感のある作品制作のため必要な知識の習得はまだ不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各課題の前後に、アイデアスケッチと計画、コメントや振り返りを設け、作品についてより詳しく考察させる。また、タブレット等を用い、多様な芸術作品や文化的な建築物等を鑑賞する機会を増やすことで、美術文化や生活とのかかわり方について考え、自身に生かそうとする姿勢を育む。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動することが楽しい・面白いと思える授業を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指す。</li> <li>・互いに課題を発見・解決をし他者に伝える力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が苦手な生徒が多く、身体の使い方をわかっていないことが大きな課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量を増やすとともに、タブレットや学習カードを活用し、生徒同士の学び合いの時間を充実させる。</li> <li>・集団的活動において道筋を立てて練習を考え、改善の方法を話し合うなどコミュニケーション能力を育成し、互いに楽しさや喜びを実感させる授業を展開する。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術にとってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で得た知識を活用し、実生活でどのように活用しているか、活用していくかを考え、表現することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、小集団でのプレゼンテーションの機会を取り入れることで、自らの考えを表現する力を高めると共に、他者の考えを聞くことで、学びを深めることができる授業を展開する。</li> </ul>

外国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
-----	-------------	----------------------------------	----------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本的の定着。</li> <li>・主体的に学び続ける態度、総合的な英語力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な話題について自分の考えやその理由などを書くこと</li> <li>・社会的な話題について聞き、自分の考えとその理由を話すこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語句や基本文等の繰り返しの学習により、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・英語レシテーションやスピーチ、プレゼンテーションなど言語活動の一層の充実を図る。</li> </ul>
--	--	---	---

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を活用し、個人の考えが表現しやすくなる一方、お互いの意見を表現し合う場面や、考えを深め合う機会が減少したことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを整理・表現し、互いの意見を交換し合うことで考えを深める。</li> <li>・教科学習との双方向性をもち、幅広い学習・より多面的な学習で人間関係力や表現力を伸ばす。</li> </ul>

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団や社会の一員として、よりよい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や宿泊行事等の体験活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を体系的、継続的に図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びに向かう力、人間性等」を育むことで、よりよい人間関係の形成し、自己を生かしつつ、各学年・クラス等で学級活動・生徒会活動・学校行事などのよりよい集団活動に自主的・実践的な取り組みを充実させる。</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、探究的な見方・考え方を働かせ、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動教室や修学旅行等の宿泊行事、職場訪問や職業の話聞く会等のキャリア教育を「発達段階に応じた内容」として設定し、調べ学習・体験活動・レポートの作成や発表会活動等を行い、自らの学びを振り返り、次の学びに向かうことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外部との連携の必要性」の観点から地域の企業や外部人材を積極的に活用し、災害に備えた安全なまちづくりや防災に関わった活動や取組を行うなど、教科等の枠を超えた横断的・総合的な教育活動の充実をさせる。</li> </ul>